

9月は、説明文・論説文の乱文整序・文章構成を学ぶことによって、文章の構成や大切な部分はどこか、具体的に説明している部分はどこか、などの文章全体の構成をつかむことや、文章の要旨をとらえることができるようになることが目標です。

また語句単位では漢字の成り立ちや画数・筆順、符号・かなづかい、熟語の組み立て、三字熟語・四字熟語などを学ぶことによって、漢字の幅広い知識を身につけることが目標です。

覚えることがたくさんあって大変かもしれませんが、どれも大切なものばかりです。じっくりと取り組んで確実に身につけていきましょう。

◆第1回 説明文・論説文 乱文整序／漢字の成り立ち・部首

「乱文整序」とは、順番がばらばらになってしまったいくつかの文や段落を正しい順番に直す問題のことです。指示語や接続語などを手がかりにして、文章全体の話のつながりをとらえて、正しい順番を考えるという部分と全体のつながりをつかむ力を養っていきます。

「読む」「書く」ツールでは「漢字の成り立ち・部首」を学習します。「六書」に分類される成り立ちについて学び、漢字の意味の中心につながる部首を学ぶことで、漢字への理解を深めていきましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・Ⅰの★（課題）、Ⅱの★（課題）

「読む」「書く」ツール・・・①～⑥

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～④

③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第一回

④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章②・・・1～5 ※動画内で解説しています。

◆第2回 説明文・論説文 文章構成①／画数・筆順・おくりがな

今回から「文章構成」について学習します。「文章構成」とは、文章全体の中で、「どこに」「どんな説明が書かれているか」といった、文章の論理展開をとらえる考え方です。話題となる「序論」はどこか、説明・具体例となる「本論」はどこか、筆者の考えがまとめられた「結論」はどこか、というように、文章を読み分けていくことで、正確な文章理解が可能となります。

また、「読む」「書く」ツールでは「画数・筆順・おくりがな」を学習します。本来ならば、普段の漢字の学習の際にきちんと確かめておくべき部分ですが、画数や筆順を意識することで、きれいな漢字の形が書けるようになっていきます。おくりがなは入試にも出る場合があるので、しっかり覚えましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～2

「読む」「書く」ツール・・・①～⑦

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第二回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション シナジー

文章②・・・1～8 ※動画内で解説しています。

◆第3回 説明文・論説文 文章構成②／符号・かなづかい

今回も「文章構成」について学習します。「本論」に着目して読むことで、どのような説明をして、自分の意見を述べているか、筆者の立場は何かなどがつかめるようになります。「列挙型・対照型・複合型」とありますが、実際には「複合型」がほとんどです。具体例の使い方に着目して、ちがいや共通点を読み取ることを意識しましょう。

また、「読む」「書く」ツールでは「符号・かなづかい」を学習します。符号もかなづかいも日常的にげなく使っているものですが、「築く（きずく）」と「気付く（きづく）」など、間違った使い方をする、相手に誤解を与えることにもつながります。しっかりと使い方を確かめましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～2

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～②

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第三回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～5 ※動画内で解説しています。

◆第4回 説明文・論説文 文章構成③／熟語の組み立て

引き続き「文章構成」について学習します。今回は、特に入試で頻出の文章の構造でもある「対照型（対照的内容）」に着目します。二つの内容を比較しながら説明するため、「どこに」「どちらの」説明

が書かれているか、ちがいや共通点は何かなど、文章構成を意識することで内容がつかみやすくなります。

また、「読む」「書く」ツールでは「熟語の組み立て」を学習します。「熟語の組み立て」は、漢字二字の熟語がどのような意味を持った漢字で構成されているのかをとらえることです。正確に意味を理解するためにも役立ちますので、しっかりと取り組みましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～3

「読む」「書く」ツール・・・①～③

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～5

「読む」「書く」ツール・・・①～②

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第四回

- ④「本科テキスト」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～3 ※動画内で解説しています。

◆第5回 説明文・論説文 要旨①／三字・四字熟語

「要旨」とは、文章の中心となる筆者の考えを短くまとめることです。第2回～第4回で学習した「文章構成」の考え方を活用して、文章の中心をとらえ、筆者の考えを読み取っていくことに取り組んでいきます。

「読む」「書く」ツールでは「三字・四字熟語」を学習します。いずれも熟語の組み立てに関する理解だけでなく、意味や使い方をしっかりと覚えていくようにしましょう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

文章①・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①の②（文章題）・・・1～4

「読む」「書く」ツール・・・①～④

- ③「計算と漢字」必ず解いてみよう。

第五回

- ④「本科教室」この問題にチャレンジ。

文章①・・・オプション 探求

文章②・・・1～3 ※動画内で解説しています。

9月から後期の授業が始まります。5年生後期で学習する単元は、入試問題でもよく出題される単元ばかりです。気持ちもあらたにがんばっていきましょう。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第1回 場合の数 ～順列・組み合わせ～

「順列」とは、いくつかのものを選んで1列に並べる並べ方。「組み合わせ」とは、いくつかのものを選ぶ選び方。このちがいをしっかりと理解しておかないといけませんね。また、「順列」をとらえるためのツールとしての樹形図は基本になります。その上で、計算でもできることを理解しておきましょう。ただし、何でもかけ算で答えを求めようとするのは危険ですよ。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～6

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 2, 5

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 2

ひとりで問題と向きあうための準備 1～5

◆第2回 場合の数 ～場合分けと調査～

第1回で学習した内容を理解した上で、新たな視点「場合分け」に取り組みましょう。場合の数では、いろいろと条件が加わってくることがあります。そうすると、かけ算の式1つで答えが求められることは少なくなってきます。まずは「このパターンもあるなあ、あのパターンもあるなあ」と考えていくことが必要になります。「場合分け」の視点もいろいろとありますので、ぼくなら…私なら…といろいろと考えてみましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①② 知識技術 1～4

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～4

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法 1, 2, 6

栄冠への道・・・学び直し③ 1, 2

ひとりで問題と向きあうための準備 1～4

◆第3回 規則性 ～周期と余り・等差数列～

数列といっても、同じ数や文字がくり返しあらわれる「周期」の問題もあれば、数がある規則で増えていく（減っていく）問題もあります。大切なことは、規則を正しく理解することです。現実の世界では必ず規則通りに進むとは限りませんが、算数の世界では規則通りに並んでいきます。そのため、規則をまちがえると正答にはたどりつかないことになります。よく考えて規則を発見しましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術 1～6

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～6

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法2, 4, 5

栄冠への道・・・学び直し③1, 2, 3

ひとりで問題と向きあうための準備1～5

◆第4回 規則性 ～比例・反比例～

「比例」とは、 x が 2 倍、3 倍、…となれば、 y も 2 倍、3 倍、…となる関係で、「反比例」とは、 x が 2 倍、3 倍、…となれば、 y は $\frac{1}{2}$ 倍、 $\frac{1}{3}$ 倍、…となる関係でしたね。どちらも自然界にはよくある関係です。そのため、理科の学習でもこの考え方を利用する問題が多いので、しっかりと学びを深めておきましょう。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理解を深めましょう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術 1～3

②「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・1～3

③「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法1, 2, 6

栄冠への道・・・学び直し③1, 3

ひとりで問題と向きあうための準備1～5

◆第5回 割合と比 ～比の意味と操作①～

今回、2 つの数量を比べる方法として、「比」を学びます。

以前に学習した「割合」は、 A が B の何倍かを表す方法です。このとき、もとにする量 (B) が 1 となりますが、比べる量 (A) が小数や分数になることがあります。

今回学習する「比」では、2つの数を「:」の記号の左右に並べ、分数と同じように約分などの作業をして簡単な整数の関係に置きかえます。

「比」では、整数の関係に置きかえることで関係をとらえやすくなります。ただし、もとの2つの数が小数や分数のときの書きかえ方や3つ以上の数の比（連比）の作り方を理解して使えるようにならないといけません。

まずは、栄冠への道「思い起こし②」をしっかりと確認して、理科を深めましょう。

- ① 「本科教室」ここだけは押さえておこう。

学び①～④ 知識技術①～⑥

- ② 「栄冠への道」必ず解いてみよう。

学び直し①・・・①～⑥

- ③ 「本科教室」「栄冠への道」この問題にチャレンジ

本科教室・・・思考技法①、②、⑤

栄冠への道・・・学び直し③②、④

ひとりで問題と向き合うための準備①～⑦

発展講座で扱う問題は応用力を必要としますので、問題によっては難しいと思いますが、動画を見ながらしっかりと学習していきましょう。

◆第1回 場合の数 ～順列・組み合わせ～

今回のテーマ「場合の数」は、「答えは出るけれども〇がもらえない問題」が多く、苦手意識をもつ小学生がたくさんいます。大切なことは、「過不足なく探すために、どのような工夫ができるか」を意識することです。そのため、表を利用したり、樹形図をかいたり、といろいろと作業していきましょう。その上で、その先を予想し計算を用いてください。なんでもかんでも式ひとつで答えが出ると思いこまないように取り組んでいきましょう。

また、順序を考えに入れる「順列」と順序を考えに入れない「組み合わせ」の違いも理解しておかないと正答にはたどりつきません。なかなか難しいですね。

◆第2回 場合の数 ～場合分けと調査～

場合の数を求めるとき、場合分けのしかたはいろいろと考えられます。「どの方法が最も効率よく調べられるか」「どの方法がもれや重複なく調べられるか」など、目的に合わせて方法を選ぶようにしましょう。

樹形図を使ってすべての場合を数え上げる方法は、どんな場合の数を求めるときにも使える方法ですが、樹形図をかいていく中で、くり返される部分が見つかり、以降はかけ算を使って求められることもあります。場合の数を求める方針が立たなければ、まず、樹形図をかくことから始めてみましょう。

◆第3回 規則性 ～周期と余り・等差数列～

数や図形がどのような規則で並んでいるのかを、「自ら発見する」ことが大切です。そのためには、となりとの差に着目したり、くりかえしに注目したりと、いろいろと工夫してみましょう。その上で、先の数や図形を予測していくことができるのです。

特に、「等差数列」は規則性を解く上で、大切な考え方です。「 n 番目の数を求める式」と「和の公式」は必ず定着させましょう。

◆第4回 規則性 ～比例・反比例～

「比例」「反比例」の学習です。2量の関係について、「表」を利用したり、「グラフ」を利用したりしますし、 x と y の関係を「式」で表すとどうなるのかも学習します。これらを手がかりに解き進めていきましょう。比例の関係は、身の回りによくあらわれるので、理解も進みやすいですが、反比例の関係はなかなか難しいです。ただ、いずれの関係も算数だけでなく理科の学習でもよく使いますので、しっかりとがんばっていきましょう。

◆第5回 割合と比 ～比の意味と操作①～

今回から「比」の学習に入ります。比が自由に扱えるようになると、算数の解法は一気に広がります。定着するまでは難しいですが、大きく伸びるチャンスともいえるので、しっかりとがんばりましょう。

比は割合と同じように2数の倍数関係を整数で表したものです。割合は、もとにする量を「1」としていましたが、比では、いろいろと変化していきます。そのため、はじめは難しいと感じるかもしれませんね。

楽しかった夏休みも終わり、いよいよ新学期のスタートです。9月の理科では「地層と岩石」「地層の変化」「太陽の熱がもたらす変化」「四季と天気」について学習します。まだまだ暑い日が続きます。体調に気を付けて過ごしましょう。

◆第1回 地層と岩石

流れる水の働きと、それによって起こる地形の変化を理解しよう。また、川が海に運んだ土砂がどのように積もるのかを考えてみよう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - ・流水の働きと特徴的な地形のでき方を理解しよう。
 - ・地層のでき方を理解しよう。
 - ・岩石の種類と、それぞれの特徴を結びつけて覚えよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう。
 - ・「本科教室」…オプション探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第2回 地層からわかること

大地に起こるさまざまな変化や、その変化が起きた原因を考えてみよう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - ・地層の変化とその仕組みを理解しよう。
 - ・地層の積み重なり方や、化石からわかることを整理して覚えよう。
 - ・地震の伝わり方を理解しよう。
- ②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう
 - ・「本科教室」…オプション探求
 - ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③
- ③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第3回 太陽の熱がもたらす変化

太陽からの熱の伝わり方、また、熱が伝わることで地温や気温がどのように変化するのかを考えてみよう。

- ①「本科教室」ここだけは押さえておこう。
 - ・太陽から伝わった熱が、地面や空気を温めるようすを理解しよう。
 - ・太陽高度、地温、気温が最高になる時刻を覚えよう。
 - ・地温をはかるための百葉箱の仕組みを理解しよう。

- ・風のふく原因・雲のでき方・気圧について理解しよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第4回 四季と天気

日本の四季について、それぞれの季節に特徴的な天気の様子を覚えよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・前線と雲のでき方について理解しよう。
- ・日本付近のそれぞれの季節に特有の雲の様子を覚えよう。
- ・台風に接近にともなって、どのようなことが起こるのか考えてみよう。
- ・それぞれの季節に特有の、特徴的な雲の様子と気圧配置を覚えよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…オプション探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第5回 地球の自転・公転と星の見え方

本当は動いていない星が動いて見えるのは、地球の自転や公転が原因です。このように、動いていないものが動いて見える現象を「見かけの動き」といいます。

北極上空から見た地球の様子から、地球の自転と公転が、星の見かけの動きにどのような影響を与えているのか考えてみよう。

①「本科教室」ここだけは押さえておこう。

- ・地球の、公転・自転という動きについて理解しよう。
- ・北極上空から見たとき、地球上のさまざまな地点で方角や時刻が、どのように表せるのかを理解しよう。
- ・北極上空から地球を見た図を用いて、星の見える方角と時刻との関係を理解しよう。
- ・地球が公転しているため、同じ時刻に観察した時、星の位置が少しずつずれていき、季節によって見える星座が変化することを理解しよう。
- ・時刻や観察した日付と、星の見える方角の間にある規則性を見つけよう。

②「本科教室」「栄冠への道」必ず解いてみよう

- ・「本科教室」…探求
- ・「栄冠への道」…学び直し①、学び直し③

③「栄冠への道」この問題にチャレンジ：学び直し②

◆第1回 大陸と陸続きだったころ

最初に「歴史を学びはじめる前に」を読み、年代のあらわし方、時代の区切り方など、歴史を学ぶにあたり必要な知識を身につけましょう。とくに「西暦」や「世紀」、「元号（年号）」について理解しなくてはなりません。

①では、旧石器時代について学習します。打製石器を使い、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物を狩り、木の実などを採集してくらしていました。岩宿遺跡や野尻湖遺跡といった遺跡の名も覚えましょう。

②では、縄文時代について学習します。縄文土器、たて穴住居、土偶といった旧石器時代にはなかったものがあらわれます。大森貝塚や三内丸山遺跡にも注目しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

（むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。）

📖 日本史資料集 P48～P49を参照しましょう。

◆第2回 ムラからクニへ

今回は弥生時代について学習します。

①では、稲作をはじめ、金属器（鉄器や青銅器）などが中国や朝鮮半島を経由して日本へ伝わったことを学習します。

②では、稲作などが日本へ伝わったことでどのような影響があったのかについて学習します。日本ではムラというまとまりができ、次第に、より大きなクニというまとまりになっていきます。その過程で、身分のちがいや貧富の差が生じていきました。吉野ヶ里遺跡からはそうしたムラなどが互いに争っていたことがわかる痕跡が出てきました。こうした一連の動きを理解しましょう。

③では、中国から見た日本のようすについて学習します。中国の歴史書（一部）がテキストや資料集にのっていますね。奴国王に授けられた「金印」、邪馬台国の卑弥呼は入試でもよく問われる知識です。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

（むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。）

📖 日本史資料集 P8～P9、P50～P51を参照しましょう。

◆第3回 大陸から渡ってきた人たち

- ①では、古墳が近畿地方を中心につくられた古墳時代について学習します。古墳や大和政権、渡来人、大陸からもたらされたものについて、しっかりと理解しましょう。
- ②では、飛鳥時代について学習します。聖徳太子がおこなったことは入試では必出ですよ。しっかりと覚えましょう。また中大兄皇子や中臣鎌足といった人物が天皇中心の政治をおこなうために「大化の改新」をすすめていきます。この改革も入試に必出です。この②はその後の歴史のもとになるという点でもとても大切な単元であることがわかりますね。
- ③では、飛鳥文化について学習します。法隆寺はとても有名ですね。テキストにのっている仏像や工芸品を確認しておきましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P10～P11、P52⑦～P55を参照しましょう。

◆第4回 都をささえた人たち

今回は奈良時代について学習します。

- ①では、平城京やそこでおこなわれた律令政治について学習します。大宝律令をもとに天皇中心の政治をおこないましたが、中国を見習った制度だったので、徐々にくるいが生じてきます。墾田永年私財法や荘園といった、少し難しい語句が出てきますね。最終的に漢字で書けるようにしておくことは大事ですが、難しい語句はまずはひらがなでも良いので書けるようにしておきましょう。
- ②では、聖武天皇の政治について学習します。聖武天皇は入試では必出の人物です。行基というお坊さんもここに関係してきます。
- ③では、天平文化について学習します。遣唐使(630年～894年)の影響を大きく受けた文化です。東大寺の大仏や正倉院といった仏教関連の建造物や、古事記や日本書紀、万葉集といった書物の名を、しっかりと覚えましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P12～13、P56～P59を参照しましょう。

◆第5回 貴族と農民の暮らし

①では、平安時代の初期について学習します。桓武天皇が律令政治を立て直そうと、改革を実施します。また「コラム」を読んでおきましょう。

②では、平安時代の貴族による政治について学習します。藤原氏による政治がどのようなものだったのかをしっかりと確認しておきましょう。また「コラム」を読んでおきましょう。

③では、都のようすと地方のようすを対比して学習します。華やかな生活をおくる貴族たちのもとで、いわゆる国風文化がおこりますが、地方では徐々に朝廷の力が及ばなくなっていく様子が書かれています。また極楽浄土へ行きたいと願う浄土信仰がはやることも確認しておきましょう。「コラム」や「社会探検」を読んでおきましょう。

【これもおさえておこう！】

📖 オプション 探求・シナジー

(むずかしければ解答を読んで内容を確認しておきましょう。)

📖 日本史資料集 P14～P15、P60～P64 を参照しましょう。